

2025年8月10日 聖日礼拝メッセージ 牧師：伊藤 博
《テーマ》「ヨハネの見た神の子イエス・キリスト」
《み言葉》ヨハネの黙示録1：9～18



- 9 私ヨハネは、あなたがたの兄弟で、あなたがたとともにイエスにある苦難と御国と忍耐にあずかっている者であり、神のことばとイエスの証しのゆえに、パトモスという島にいた。
- 10 私は主の日に御霊に捕らえられ、私のうしろにラッパのような大きな声を聞いた。
- 11 その声はこう言った。「あなたがたを見たことを巻物に記して、七つの教会、すなわち、エペソ、スミルナ、ペルガモン、ティアティラ、サルディス、フィラデルフィア、ラオディキアに送りなさい。」
- 12 私は、自分に語りかける声を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台が見えた。
- 13 また、その燭台の真ん中に、人の子のような方が見えた。その方は、足まで垂れた衣をまとい、胸に金の帯を締めていた。
- 14 その頭と髪は白い羊毛のように、また雪のように白く、その目は燃える炎のようであった。
- 15 その足は、炉で精錬された、光り輝く真鍮のようで、その声は大水のとどろきのようであった。
- 16 また、右手に七つの星を持ち、口から鋭い両刃の剣が出ていて、顔は強く照り輝く太陽のようであった。
- 17 この方を見たとき、私は死んだ者のように、その足もとに倒れ込んだ。すると、その方は私の上に右手を置いて言われた。「恐れることはない。わたしは初めであり、終わりであり、
- 18 生きている者である。わたしは死んだが、見よ、世々限りなく生きている。また、死とよみの鍵を持っている。
- 《はじめに》ヨハネの黙示録とは？



「イエス・キリストの黙示。神はすぐに起こるべきことをしもべたちに示すため、これをキリストに与えられた。そしてキリストは、御使いを遣わして、これをしもべヨハネに告げられた。」 黙示録 1:1
ヨハネの黙示録は、AD90年代にイエス・キリストの弟子ヨハネによって書かれました。ヨハネは迫害を受け、エーゲ海に浮かぶパトモス島に島流しとなっていました。その時神から見せられた幻を記したものです。

《今週のメッセージ》

A、ヨハネは、栄光に輝く神の子イエス・キリストの御姿をはっきりと見ました。

1、ヨハネは、主の日に大きなラッパの様な声を聞き、七つの金の燭台を見ました。 10節

a、金の燭台は、モーセの幕屋の中にあつたものですが、今日では、教会を表しています。

b、燭台の光が幕屋を照らしていたように、教会も聖霊による光でこの世の闇を照らしています。

2、ヨハネは、神の子イエス様を見ました。 13～16節

a、金の燭台の真中には、人の子のような方が見えまして。メシア・救い主なるイエス様です。

☆ダニエル書において、メシヤのことが「人の子」と呼ばれています。 ダニエル 10:5～6

b、暗闇を照らす燭台なる教会の中に「人の子のような方」、イエス様がおられるのです。

(証) 40 数年前、伊藤牧師が横浜市にある金沢キリスト教会の教会献身者だったころ、横須賀共済病院に入院していた教会員の女子大生のおばあちゃん(田代さん)の病状が悪化した知らせを受け、牧師先生と共に病院に行き待合室で夜遅くまでお祈りをしました。田代さんはその夜危機を脱し、順調に回復されやがて面会もできるようになったため、初めて病室でお会いした時、田代さんが私に興奮気味にこう話し出したのです。

『先生、私が危ないという夜に、祈ってくださったということで、本当にありがとうございました。実はあの夜のことなんですが、・・真っ白い長い髪の人で、真っ白い長い衣を着た神々しいお方が私のところに来て、手を伸ばして私に触ってくれて『しっかりしなさい。もう大丈夫です。』と、言われたんですよ。その瞬間私は元気になったのです！先生その方って、誰なんでしょうね。私は天皇陛下じゃないかと思うんですけど？』

私は、「田代さん、その方は天皇陛下じゃないんですよ。その方は、イエス様ですよ。あの夜、待合室で

牧師先生と私が祈った時、イエス様が田代さんのところに来てくださり癒して下さったんですよ。その方こそ、本当の神様・お孫さんの信じている救い主イエス様ですよ。」と言い、聖書を開き黙示録 1 章 13~16 節のみ言葉をゆっくりと読み上げました。その時、田代さんは叫びました。「この方です。この方ですよ！この方が、私に手を差し伸べ、『しっかりしなさい。もう大丈夫です。』と言ってくれた方です!」・・・

田代さんはイエス様を信じ救われ、その後病は完全に癒され退院し、やがて教会の礼拝に通うようになり、洗礼を受け神の子とされ、しばらくの教会生活を送り、やがて天国に召されていられました。

B、神の御子イエス様はどのようなお方なのでしょう？

17~18 節

1、ヨハネは、天におられるイエス様を見たとき、その足もとに倒れて死者のようになりました。

a、ダニエルも、主の御姿を見て死人のようになってしまいました。 **ダニエル 10:8~9**

b、神に出会う時に平気でいられる人はいないでしょう。皆、恐れ・へりくだらされるでしょう。

・・・その理由を次の3つのみことばから学びましょう。・・・

2、神の御子イエス様は、ヨハネの上に右手を置いて言われました。



a、「わたしは初めてあり、終わりである」

①イエス様は、全ての全てなるお方です。

②全能の父なる神も、同じように語られます。

「神である主、今おられ、昔おられ、やがて来られる方、全能者がこう言われる。

『わたしはアルファであり、オメガである。』 **8 節** (黙示録 21:6、22:13 参照)

b、「わたしは死んだが、見よ、世々限りなく生きている。」

☆イエス様は 2000 年前この地上にこられ、十字架にかけられ、全人類の罪の罰を受け死なれ墓に葬られましたが、3 日目の朝 (日曜日の朝) 墓からよみがえり、今も生きています。

「・・・見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」 **マタイ 28:20b**

c、「わたしは・・・また、死とよみの鍵を持っている。」

①「よみ・ハデス【新改訳 3 版】とは、イエス様の十字架による救いの無い死者が、終末のさばきを待つ間の中間状態で置かれる所です。

②イエス様には人を救う権威だけでなく、人を地獄に入れる権威もあります。

★終わりの時に、よみ・ハデスより死者は出され「大きな白い御座」(黙示録 20:11~12) で、最後の審判を受けるのです。ただしイエス様を信じている者は裁かれません。

③神は愛なるお方ですが・同時に義なるお方です。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」 **ヨハネ 3:16**

神は、どんな罪人であっても愛し、イエス様を信じる者を救い、永遠の御国に入れてくれますが、イエス様を信じない者やイエス様にとどまらない者は、神の義により、永遠のさばきの火の中に投げ込まれるのです。

「わたしにとどまっていなければ、その人は枝のように投げ捨てられて枯れ

ます。人々がそれを集めて火に投げ込むので、燃えてしまいます。」 **ヨハネ 15:6**

④私達は今こそ、私達を愛して十字架で死に三日目によみがえり、今も生きておられる神の御子イエス様を自分の救い主として受け入れ、イエス様にとどまっていける決断をしましょう。

